

取扱説明書

中央監視MV表示仕様
マルチループコントローラ
〔連続出力形〕

形式：CPXA

富士電機株式会社

INP-TN5A1693

はじめに

このたびは，富士電機のマルチループコントローラ（形式：CPXA）をお買い上げいただき，まことにありがとうございます。

・この取扱説明書をよくお読みいただき, 十分に理解した上でマルチループコントローラの据え付け, 運転をおこなってください。取扱いを誤ると事故や傷害を発生させる恐れがあります。
・このマルチループコントローラの仕様は，製品改良のため予告なく変更することがあります。
・お客様においてマルチループコントローラを改造したことにより生じた事故・故障等の不良については，一切責任を負えません。あらかじめご承知おきください。
・この取扱説明書は，実際にマルチループコントローラをお使いになる方が保管してください。
・お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
・この取扱説明書は，必ず最終需要家まで渡るように配慮してください。
・本書の内容につきましては，正確さを期するために万全の注意を払ってはおりますが，本書中の誤記や情報の抜け, あるいは情報の使用に起因する結果, 生じた間接損害を含むいかなる損害に対して, 弊社は責任をおいかねますので，あらかじめご了承ください。

［注］ Windows は，Microsoft Corporation の登録商標です。
［注］ Pentium は，Intel corporation の登録商標です。
［注］ Acrobat Reader は，アドビシステムズ社の登録商標です。

製　造　者：富士電機株式会社
形　　　式：本体銘板に記す
製造年月日：本体銘板に記す
製　造　国：日　本

お願い

・本書の内容の一部, または全部を無断で記載することは禁止されています。
・本書の内容に関しましては，将来予告なしに変更することがあります。
・本書の中の分かりにくい箇所，記述の誤り，記載もれなどお気づきの点がございましたら，巻末のマニュアルコメント用紙にご記入のうえ，担当営業員にお渡しください。

発　行　2013-03

安全上のご注意

ご使用の前にこの『安全上のご注意』をよくお読みの上，正しくご使用ください。

・ここに示した注意事項は，安全に関する重大な内容を記載していますので，必ず守ってください。安全事項のランクを「警告」,「注意」と区分してあります。

表示と意味は，次の通りになっています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 警告

- 本機器の故障や異常が重大な事故や他の機器への障害となる恐れがある場合には、外部に適切な非常停止回路・保護回路を設置して事故防止を図ってください。
- 本品には電源スイッチ、ヒューズは付いておりませんので、必要な場合は、別途設けてください。（ヒューズ定格250V, 2A）
- 機器破損防止および故障防止のため、定格にあった電源電圧を供給してください。
- 感電防止・誤動作防止および機器故障防止のため、すべての取付け・配線が終了するまで電源をONしないでください。
- 本質安全防爆対応ではありませんので、可燃性、爆発性ガスの場所では使用しないでください。
- 本機器は絶対に分解したり加工・改造・修理は行わないでください。異常動作・感電・火災の危険性があります。
- 通電中は端子に触れないでください。感電・誤動作の恐れがあります。
- モジュール・ユニットの着脱は電源をOFFにして行ってください。感電・誤動作・故障の原因となります。
- 本機器を継続的かつ安全にご使用いただくために、定期的なメンテナンスをおすすめします。本機器の搭載部品には寿命があるものや、経年変化するものがあります。
- 本体上下部の通気口をふさがないでください。故障・異常動作・寿命の低下・火災の危険性があります。

⚠ 注意

・開梱時に、損傷・変形しているものは使用しないでください。火災・誤動作・故障の恐れがあります。
・製品が目的の仕様のものであることを確認してから使用してください。製品の破損・故障の原因になります。
・製品を落下・転倒などで衝撃を与えないでください。製品の破損・故障の原因になります。
・ごみ・電線くず・鉄粉など異物が機器内部に入らないよう施工してください。誤動作・故障の恐れがあります。
・端子ネジおよび取付けネジは締めつけが確実に行われていることを半年毎に確認してください。ゆるんだ状態での使用は、火災・誤動作の原因となります。
・運転中の設定変更・強制出力・起動・停止などの操作は十分安全を確認して行ってください。操作ミスにより機械の破損や故障の恐れがあります。
・運転中、端子台は付属の端子カバーを必ず取り付けた状態にしてください。感電・火災のおそれがあります。
・本機器を取付ける際は下記条件の場所を避けるよう注意してください。
　周囲温度が０～５０℃の範囲を超える場所（左右密着取付時は０～４０℃）
　周囲湿度が４５～９０％RHの範囲を超える場所
　結露が生じる場所
　腐食性ガス（特に硫化ガス、アンモニア等）や可燃性ガスのある場所
　本体に振動・衝撃が加わる場所（許容連続振動条件：4.9m/s^2以下）
　水・油・薬品・蒸気・湯気のかかる場所
　じんあい・塩分・鉄分の多い場所
　誘導障害が大きく・静電気・磁気・ノイズが発生しやすい場所
　輻射熱などによる熱蓄積の生じるような場所
・本機器を取付ける際はパネルに対し、ケースに応力がかからない様に注意して取り付けてください。ケースを破損する恐れがあります。
・水に浸ったときは、使用を中止してください。漏電・感電・火災の危険性があります。
・熱電対入力の結線の場合は所定の補償導線以外の線材を使用しないでください。指示誤差・動作異常の原因となります。
・測温抵抗体入力の結線の場合は、線抵抗が小さく３線間の抵抗差のない線材を使用してください。指示誤差・動作異常の原因となります。
・電源からのノイズが多い場合には絶縁トランスを付加しノイズフィルタを使用してください。
・本体を清掃する際は、アルコール・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、直接本体に水をかけないでください。変質・故障・漏電・感電・火災の危険性があります。
本体を清掃する際は、乾いた布で、から拭きしてください。
・製品を廃棄するときは、産業廃棄物として取扱ってください。
・必ず接地を行ってください。接地しない場合、感電・誤動作の原因となります。
・配線作業は資格のある専門家が行ってください。配線を誤ると、火災・故障・感電の原因となることがあります。

目　次

1.　概要

マルチループコントローラ（CPX）は，マルチループ（最大４ループ）のプロセスコントローラです。
本章では、標準の機能に以下事項を追加しておりますので、標準の取扱説明書と併せてご使用ください。
追加仕様については、以下に示す３点です。

1. MV 極性（Polarity）設定により、デジタル MV 指示の反転を可能としました。
   これにより、MV バーグラフと同様に、バルブ開度指示として使用することができます。
   ⇒３章参照願います。

2. 制御状態表示に「EMP」表示を追加し、PV トラッキングモードと EX-MV モード状態の表示が可能となりました。
   …DCS のバックアップ調節計と使用する場合に有効です。
   （従来機種は、EX-MV モードが優先されて表示されていました）
   ⇒２章参照願います。

3. 測定値（PV）指示および設定値（SV）指示のプログラム化
   プロセス指示画面（ループ画面）のバーグラフ指示およびデジタル値指示をウェハ結線を併用してプログラムできるようにしました。
   ⇒４章参照願います。

重 要

４章に記載の任意の設定が不要になった場合は、4.6 節に記載の工場出荷値に戻してお使いください。

注 意

４章に記載の内容は、現状のウェハローダ（バージョン2.2.1以前）のバージョンではサポートしておりません。

2.　各画面での操作

本章では、本体取扱説明書 6 章に記載の内容と併せてご使用ください。
8LOOP 表示画面については、本体取扱説明書を確認してください。

2.1　4LOOP表示画面

［画面の説明］

1 画面に 4 モジュール分のデータが表示されています。

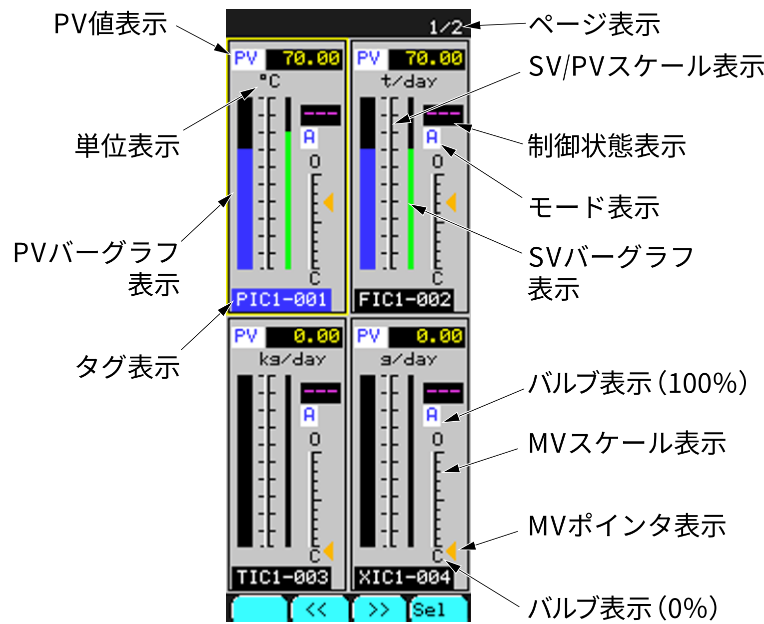


図 2-1　4LOOP 画面

［カメレオンキーの説明］

1 枚目

	<<	>>	Sel

<<　：選択枠を左方向に移動します。
　カーソルが左上にあるときは，ページ送りになります。

>>　：選択枠を右方向に移動します。
　カーソルが右下にあるときは，ページ送りになります。

Sel　：選択カーソルが当っているタグの 1LOOP 表示画面へジャンプします。

2 枚目

Back		2Lp	1Lp

Back　：この画面へ遷移してくる前の画面に戻ります。

2Lp　：選択カーソルが当っているタグを含む 2LOOP 画面へジャンプします。

1Lp　：選択カーソルが当っているタグの 1LOOP 表示画面へジャンプします。

［4LOOP 表示画面（図 2-1）各項目の説明］

＜表 2-1＞

項　目	機　能	表示の意味	単　位
タグ表示	各モージュールに設定されたタグ表示です。	―――	
単位表示	各モージュールに設定された単位です。	―――	―――
PV値表示	PV値を数値で表示します。 注）小数点、符号桁も含め最大6桁まで。	―――	工業値
PVバーグラフ表示	PV値をバーグラフで表示します。 アラーム設定画面（本体取扱説明書 7.8章）で設定したアラームが発生しているときはバーグラフは赤色で表示されます。	―――	
SVバーグラフ表示	SV値をバーグラフで表示します。	―――	
PV／SVスケール表示	０－１００%を１０%刻みの目盛りで表示しています。 アラームの設定範囲に相当する部分が赤色で表示されます。	―――	
MVポインタ表示	MV値をポインタで表示します。	―――	
MVスケール表示	０－１００%を１０%刻みの目盛りで表示しています。	―――	
モード表示	現在の制御モードを表示します。 （4LOOP表示画面でのモード切替え操作はできません。）	[R]リモートモード [C]カスケードモード [A]オートモード [M]マニュアルモード	
制御状態表示	現在の制御状態を表示します。	[---]ノーマル [SCC]伝送設定 [H M]ハードマニュアル [PVT]PVトラッキング [EXM]EX-MVモード [EMP]PVトラッキング&EX-MVモード	
バルブ表示	各モジュールで設定されているバルブの方向を表示します。	[O]は、OPENの略称 [C]は、CLOSEの略称	

［4LOOP 表示画面の機能］

（できること）

1）カーソルで選択されているタグの 2LOOP，1LOOP 画面へジャンプすることができます。

（できないこと）

1）SV ／ MV 及び制御モードを変更することはできません。

（注意点）

1）モジュールの表示順序は，メニュー 2/3 の DISP SETTING の 4LOOP SETTING 画面にて変更することができます。（詳細は，本体取扱説明書 7.9.4 を参照してください。）

2）選択されているモジュールは，タグが青色表示になり，黄色線で包まれた表示となります。

2.2　2LOOP表示画面

［画面の説明］

1 画面に 2 モジュール分のデータが表示されています。

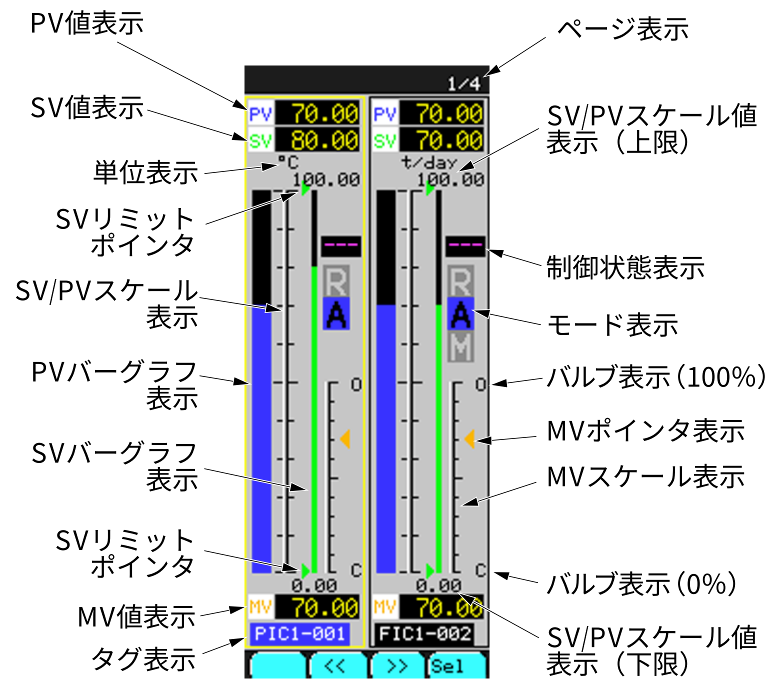


図 2-2　2LOOP 画面

［カメレオンキーの説明］

1 枚目

	<<	>>	Sel

<<　　：選択枠を左方向に移動します。
　　　　カーソルが左にあるときは，ページ送りになります。

>>　　：選択枠を右方向に移動します。
　　　　カーソルが右にあるときは，ページ送りになります。

Sel　　：選択カーソルが当っているタグの 1 LOOP 表示画面へジャンプします。

2 枚目

Back		Parm	

Back　　：この画面へ遷移してくる前の画面え戻ります。

Parm　　：モジュールパラメータ設定画面へジャンプします。

［2LOOP 表示画面（図 2-2）各項目の説明］

＜表 2-2 ＞

項　目	機　能	表示の意味	単　位
タグ表示	各モージュールに設定されたタグ表示です。		
単位表示	各モージュールに設定された単位です。		―――
PV値表示	PV値を数値で表示します。 注）小数点、符号桁も含め最大6桁まで。		工業値
PVバーグラフ表示	PV値をバーグラフで表示します。 アラーム設定画面（本体取扱説明書 7.8章）で設定したアラームが発生しているときはバーグラフは赤色で表示されます。		―――
SV値表示	SV値を数値で表示します。 注）小数点、符号桁も含め最大6桁まで。		工業値
SVバーグラフ表示	SV値をバーグラフで表示します。		―――
PV／SVスケール表示	０－１００%を１０%刻みの目盛りで表示しています。 アラームの設定範囲に相当する部分が赤色で表示されます。		―――
SVリミットポインタ表示 （上/下限）	制御パラメータで設定されている SVのリミット値（SV-H/SV-L）を ポインタで表示します。		
MVポインタ表示	MV値をポインタで表示します。		
MV値表示	―――		
MVスケール表示	０－１００%を１０%刻みの目盛りで表示しています。		
モード表示	現在の制御モードを表示します。 注）明るく光っている表示が、現在のモードです。リモートモード要求が有るときは、[R]または[C]が点滅します。オートモード要求が有るときは、[A]が点滅します。	[R]リモートモード [C]カスケードモード （リモートモード） [A]オートモード [M]マニュアルモード	
制御状態表示	現在の制御状態を表示します。	[---]ノーマル [SCC]伝送設定 [H M]ハードマニュアル [PVT]PVトラッキング [EXM]EX-MVモード [EMP]PVトラッキング& EX-MVモード	
バルブ表示	各モジュールで設定されているバルブの方向を表示します。	[O]は、OPENの略称 [C]は、CLOSEの略称	

［2LOOP 表示画面の機能］

（できること）

1）カーソルで選択されているタグの 1LOOP 画面へジャンプすることができます。

2）運転キーで SV ／ MV 及びモードを設定して，運転を行うことができます。

3）アラーム，制御状態の監視をすることができます。

（できないこと）

1）選択されていないモジュールの運転を行うことはできません。運転したいモジュールにカーソルを合わせてください。

（注意点）

1）モジュールの表示順序は，メニュー 2/3 の DISP SETTING の 2LOOP SETTING 画面にて変更することができます（詳細は，本体取扱説明書 7.9.3 を参照してください）。

2）選択されているモジュールは，タグが青色表示になり，黄色線で包まれた表示となります。

2.3　1LOOP表示画面

［画面の説明］

1 画面に 1 モジュールのデータが表示されています。

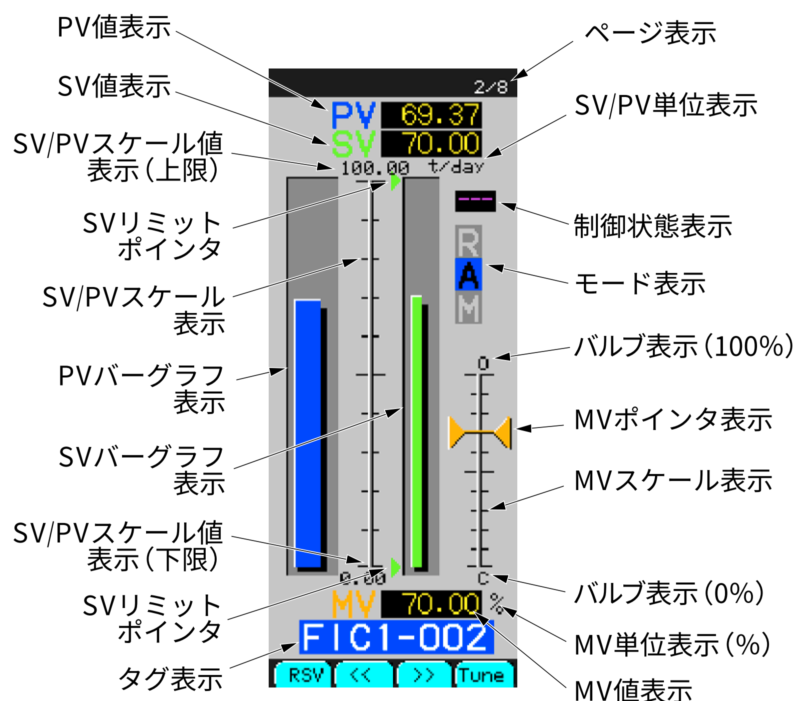


図 2-3　1LOOP 画面

［カメレオンキーの説明］

1 枚目

RSV	<<	>>	Tune

RSV　　：リモート SV 表示画面を表示します。
PV バーグラフおよび PV 数値の表示が R-SV リモート（カスケード）SV 値の表示になります。再度 PV カメレオンキーを押すことで上記 PV バーグラフ表示画面に戻すことができます。

注：A-M タイプの調節計でもこの表示は存在しますが，この場合意味がありませんので，使用しない様にしてください。

<<　　：前のモジュール画面を表示します。

>>　　：次のモジュール画面を表示します。

Tune　　：表示しているモジュールのチューニング画面へジャンプします。

2 枚目

Back	Cnst	Parm	

Back　　：この画面へ遷移してくる前の画面え戻ります。

Cnst　　：定数設定画面へジャンプします。

Parm　　：モジュールパラメータ設定画面へジャンプします。

［1LOOP 表示画面（図 2-3）各項目の説明］

＜表 2-3 ＞

項　目	機　能	表示の意味	単　位
タグ表示	各モジュールに設定されたタグ表示です。	―――	―――
単位表示	各モジュールに設定された単位です。	―――	―――
PV値表示	PV値を数値で表示します。 注）小数点、符号桁も含め最大6桁まで。	―――	工業値
PVバーグラフ表示	PV値をバーグラフで表示します。 アラーム設定画面（本体取扱説明書 7.8章）で設定したアラームが発生しているときはバーグラフは赤色で表示されます。	―――	―――
SV値表示	SV値を数値で表示します。 注）小数点、符号桁も含め最大6桁まで。	―――	工業値
SVバーグラフ表示	SV値をバーグラフで表示します。	―――	―――
SVリミット表示(上/下限)	制御パラメータで設定されている SVのリミット値（SV-H/SV-L）を ポインタで表示します。	―――	―――
PV／SVスケール表示	０－１００%を１０%刻みの目盛りで表示しています。 アラームの設定範囲に相当する部分が赤色で表示されます。	―――	―――
MVポインタ表示	MV値をポインタで表示します。		
MV値表示	MV値を数値で表示します。 注）小数点、符号桁も含め最大6桁まで。		
MVスケール表示	０－１００%を１０%刻みの目盛りで表示しています。		
モード表示	現在の制御モードを表示します。 注）明るく光っている表示が、現在のモードです。リモートモード要求が有るときは、[R]または[C]が点滅します。オートモード要求が有るときは、[A]が点滅します。	[R]リモートモード [C]カスケードモード （リモートモード） [A]オートモード [M]マニュアルモード	―――
制御状態表示	現在の制御状態を表示します。	[---]ノーマル [SCC]伝送設定 [H M]ハードマニュアル [PVT]PVトラッキング [EXM]EX-MVモード [EMP]PVトラッキング& EX-MVモード	
バルブ表示	各モジュールで設定されているバルブの方向を表示します。	[O]は、OPENの略称 [C]は、CLOSEの略称	

［1LOOP 表示画面の機能］

（できること）

1）表示しているモジュールの運転を行うことができます。

2）アラーム，制御状態の監視をすることができます。

（注意点）

1）モジュールの表示順序は，メニュー2/3 の DISP SETTING の 1 LOOP SETTING にて変更することができます。（詳細は，本体取扱説明書 7.9.2 を参照してください。）

2）MV ポインタ，MV 値表示は，MV リードバック値ではありません。

3.　モジュール設定画面（MV 極性指定）

本章では、本体取扱説明書 7.12.2 節に記載の内容と併せてご使用ください。

2nd 側の MV 指示極性につきましては、MV バーグラフ指示に加え MV デジタル数値表示も併せて正転・反転設定を行います。

コンフィグレーションメニューの「MODULE SETTING」を選択し，モジュール設定画面を表示します。

［画面の機能］

１次モジュール，２次モジュールの設定を行うための画面です。

4LOOP 分の画面があります。

注：スケール設定は BASE SCALE ＜ FULL SCALE となる様設定してください。

［画面の説明］

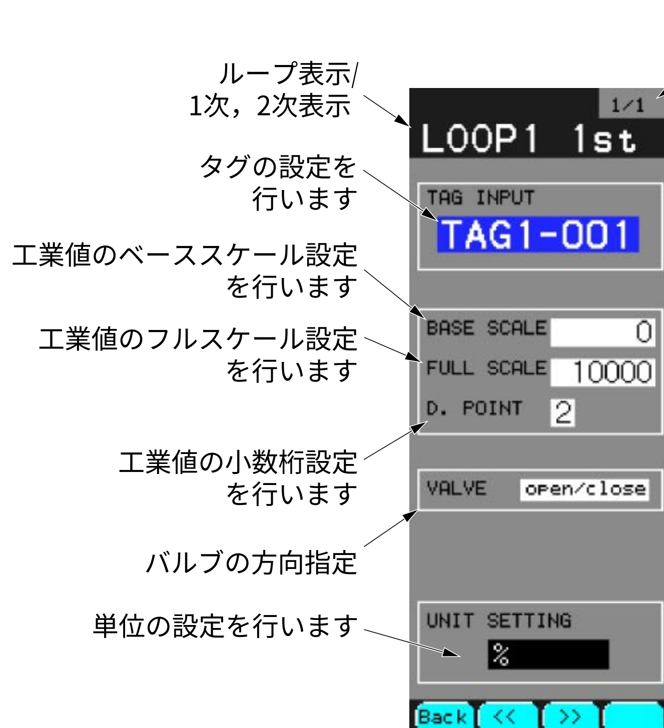


図3-1　1次モジュール設定画面



図3-2　2次モジュール設定画面

［カメレオンキーの説明］

1 枚目

Back	<<	>>	

Back　　：この画面を呼び出した元の画面に戻ります。
＜＜　　：前のページに移動します。
＞＞　　：次のページに移動します。

2 枚目

>	▼	▲	Ent

＞　　：設定モードに切り替わります。
　　　　設定桁が右に移動します。
▼　　：選択カーソルを下に移動します。
　　　　選択桁の数値がダウンします。
▲　　：選択カーソルを上に移動します。
　　　　選択桁の数値がアップします。
Ent　　：選択モードに切り替わります。＜設定モード時＞
　　　　設定モードに切り替わります。＜選択モード時＞

表 3-1　MV_POLARITY 設定と表示・動作方向の関係

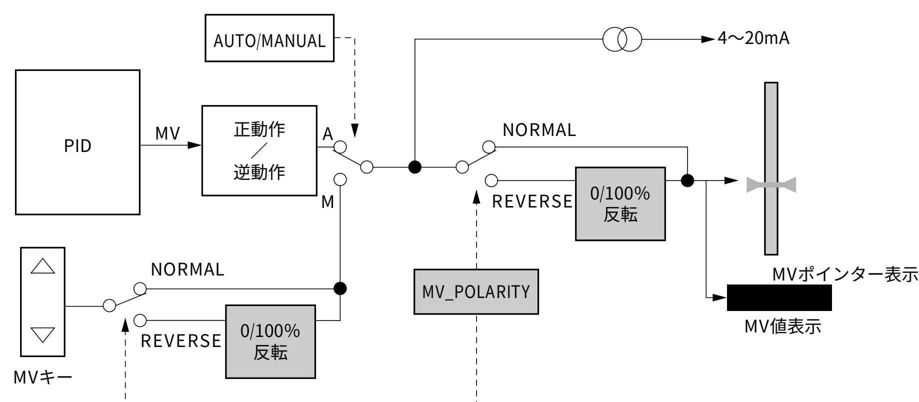
<table>
<tr><th>制御モード</th><th>MV_
POLARITY</th><th>操作方向
PV変化方向</th><th>バーグラフ表示</th><th>MV数値表示</th><th>4～20mA出力</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Manualモード</td><td>Normal</td><td>↑
MVキー
↓</td><td colspan="3">↑
↓</td></tr>
<tr><td>Reverse</td><td>↑
MVキー
↓</td><td colspan="2">↑
↓</td><td>↓
↑</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Autoモード
（逆作動時）</td><td>Normal</td><td>↑
PV
↓</td><td colspan="3">↓
↑</td></tr>
<tr><td>Reverse</td><td>↑
PV
↓</td><td colspan="2">↑
↓</td><td>↓
↑</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Autoモード
（正作動時）</td><td>Normal</td><td>↑
PV
↓</td><td colspan="3">↑
↓</td></tr>
<tr><td>Reverse</td><td>↑
PV
↓</td><td colspan="2">↓
↑</td><td>↑
↓</td></tr>
</table>

注1　↑：上昇方向　　↓：下降方向
注2　ハードマニュアルユニットとマルチループコントローラ本体のMV_POLARITY設定は連動しません。

[各項目の説明]

記　号	項　目	機　能	設定範囲	工場出荷値
TAG INPUT	タグ名称	ループ画面や設定画面で表示される各モジュールの8桁のタグ名称を設定します。 タグは，数字・アルファベット・特殊記号により設定します。タグの設定については，本体取扱説明書の7.12.2.1タグの設定画面にて詳しく説明します。	数字， アルファベット， 特殊記号 8文字まで	―
BASE SCALE	工業値 ベース スケール	PVとSVの表示目盛のベーススケールを小数点をのぞいた値で設定します。 PV，SVが0%のとき，この値が表示されます。 注）BASE SCALE ＞ FULL SCALEになるような設定はしないでください。	－9999～ 32767	0
FULL SCALE	工業値 フル スケール	PVとSVの表示目盛のフルスケールを小数点をのぞいた値で設定します。 PV，SVが100%のとき，この値が表示されます。 注）BASE SCALE ＞ FULL SCALEになるような設定はしないでください。	－9999～ 32767	10000
DIMENSION	小数点 位置	PVとSVの表示目盛の小数点位置を設定します。 この設定が0のときは，小数点なしになります。	0～4	2
VALVE	バルブ 方向	1 LOOP, 2 LOOP, 4 LOOP画面のMVスケールの0，100%位置に表示されるO/Cの表示が換わります。 OPEN/CLOSE：0%＝C, 100%＝O CLOSE/OPEN：0%＝O, 100%＝C	OPEN/CLOSE CLOSE/OPEN	OPEN/ CLOSE
MV_POLARITY （2ndループのみ表示）	MV出力の 極性設定	MV出力の極性設定を行います。この設定によりMV指示とPV指示の動きを一致させることができます。 NORMAL　：MV出力0%　＝4mA MV出力100%　＝20mA REVERSE ：MV出力0%　＝20mA MV出力100%　＝4mA 注）この設定はPIDパラメータの正逆動作の切替えではありません。詳しくは，表3-1および下図（ブロック図）を参照してください。	NORMAL, REVERSE	NORMAL
UNIT SETTING	単位選択	ループ画面や設定画面で表示される各モジュール単位を設定します。 単位は単位テーブルに登録してある173個から選択します。単位の選択については，本体取扱説明書の7.12.2.2単位設定画面にて詳しく説明します。	本体取扱説明書の 表7.12.2.2.1 単位一覧表 より選択	%

注：対数メモリ（スケール）の設定はできません。



ブロック図

4.　出力結線メニュー画面

本章では、本体取扱説明書 7.13.2 節に記載の内容と併せてご使用ください。
MENU 3/3 の「OUT CONNECT」を選択して出力結線メニュー画面を表示します。

[画面の機能]

5 種類の出力結線画面に移動するためのメニュー画面です。

[画面の説明]

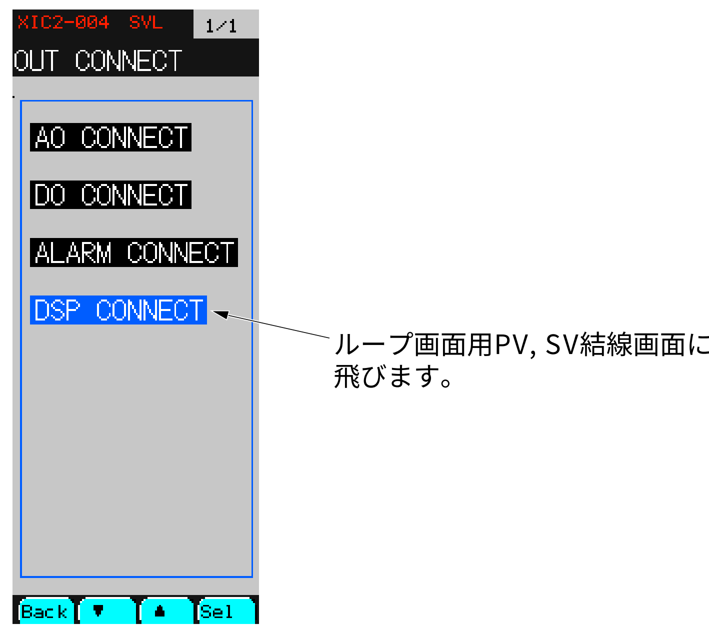


図4-1　出力結線メニュー画面

[カメレオンキーの説明]

1 枚目

Back	▼	▲	Sel

Back　：呼び出し元の画面に戻ります。
▼　：選択カーソルを下へ移動します。
▲　：選択カーソルを上へ移動します。
Sel　：選択カーソルで選択されている画面に飛びます。

4.1 T-LINK SLAVE出力結線画面

本体取扱説明書 7.13.3 を参照ください。

4.2 アナログ出力結線画面

本体取扱説明書 7.13.4 を参照ください。

4.3 デジタル出力結線画面

本体取扱説明書 7.13.5 を参照ください。

4.4 内部設定出力結線画面

本体取扱説明書 7.13.6 を参照ください。

4.5　PV指示・SV指示出力結線画面

出力結線メニューの「DSP CONNECT」を選択して、PV 指示・SV 指示出力結線画面を表示します。

[画面の機能]

ループ画面のPVおよびSVのデジタル指示とバーグラフ指示がウェハ接続で任意にプログラムできます。

[画面の説明]

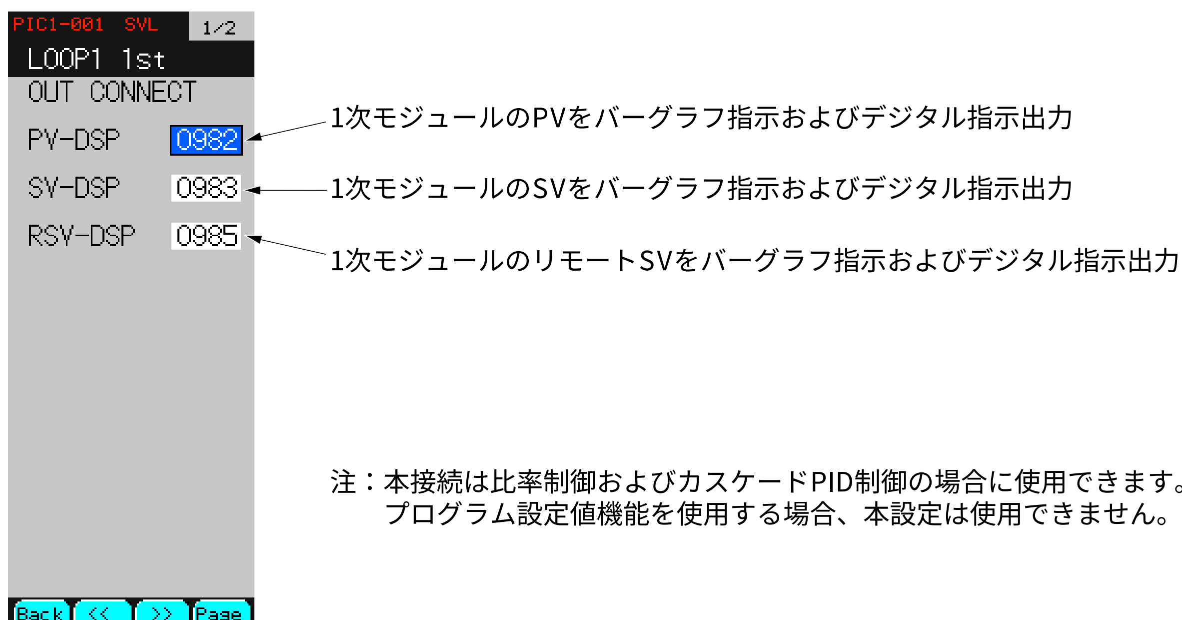


図4-5-1　1次モジュールPV指示・SV指示出力結線画面

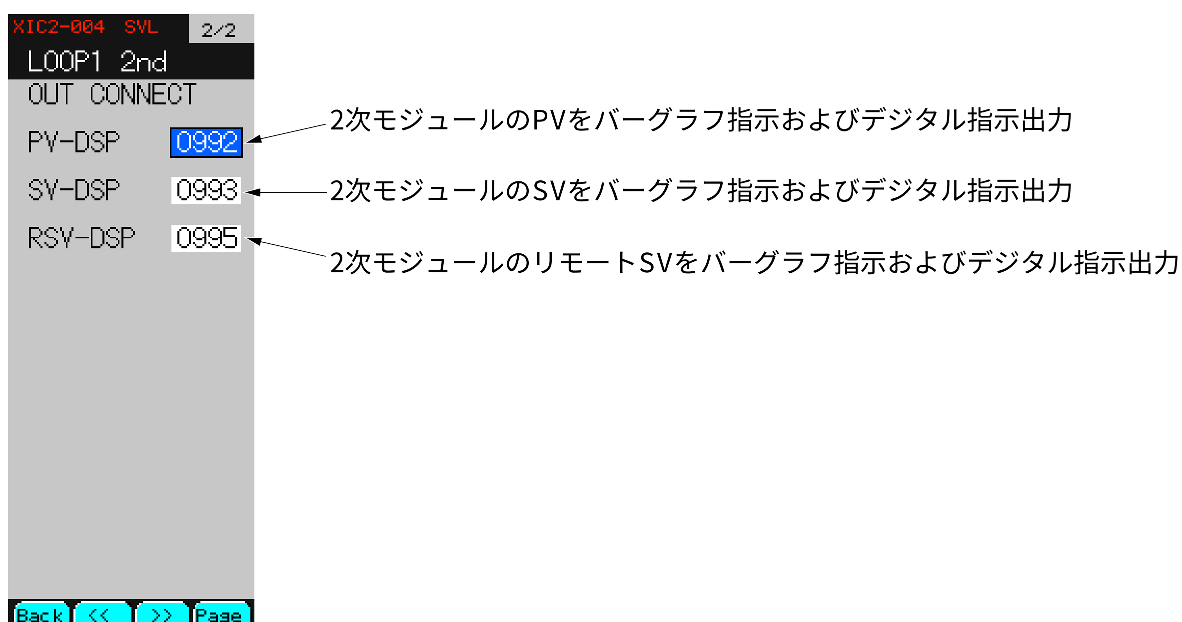


図4-5-2　2次モジュールPV指示・SV指示出力結線画面

［カメレオンキーの説明］

1 枚目

Back	<<	>>	Page

Back　　：この画面を呼び出した元の画面に戻ります。
＜＜　　：前のページに移動します。
＞＞　　：次のページに移動します。
Page　　：表示モジュールを切り替えます。

2 枚目

>	▼	▲	Ent

［表示モードの場合］

＞　　：設定変更モードに入ります。
▼　　：選択カーソルを下へ移動します。
▲　　：選択カーソルを上へ移動します。
Ent　　：設定変更モードに入ります。

［設定変更モードの場合］

＞　　：数値変更桁を移動します。
▼　　：数値を減らします。
▲　　：数値を増やします。
Ent　　：変更した値で，登録します。

［各項目の説明］

記　号	項　目	機　能	設定範囲	工場出荷値
PV-DSP	1次モジュールPV指示	1次モジュールのPV指示計に指示させます。	0000～FFFF	0982
SV-DSP	1次モジュールSV指示	1次モジュールのSV指示計に指示させます。		0983
RSV-DSP	1次モジュールRSV指示	1次モジュールのRSV指示計に指示させます。		0985
PV-DSP	2次モジュールPV指示	2次モジュールのPV指示計に指示させます。	0000～FFFF	0992
SV-DSP	2次モジュールSV指示	2次モジュールのSV指示計に指示させます。		0993
RSV-DSP	2次モジュールRSV指示	2次モジュールのRSV指示計に指示させます。		0995



警告

本設定を任意に行いますと、警報動作を含めたプロセス状態を誤って認識したり、あるいは、プロセス設定値操作ができなかったりする危険性があり、プロセスを破損させるような重大な事故となることが想定されます。
専門技術を有するエンジニアが行うようにしてください。

Fe

★ マニュアルコメント用紙 ★

お客様へ

マニュアルに関するご意見，ご要望，その他お気付きの点，または内容の不明確な部分がございましたら，この用紙に具体的にご記入のうえ，担当営業員にお渡しください。

マニュアルNo.	INP-TN5A1693
マニュアル名称	中央監視MV表示仕様 マルチループコントローラ 〔連続出力形〕 形式：CPXA

ご提出日		年 月 日
ご提出者	社名	
	所属	
	氏名	

ページ	行	内容
		意見，要望，内容不明確··········いずれかに○印

出版元記入欄	担当		受付	年 月 日	受付番号	

富士電機株式会社
本社　〒141-0032　東京都品川区大崎一丁目11番2号（ゲートシティ大崎イーストタワー）
http://www.fujielectric.co.jp
営業拠点
関東地区　TEL(03)5435-7041
中部地区　TEL(052)746-1014
関西地区　TEL(06)6455-6790
計測機器のホームページ　http://www.fujielectric.co.jp/products/instruments/